

## ▶▶ 土砂災害に備える

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いた時に発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、直後に土砂災害が起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

### こんな「前兆現象」はありませんか？

※前兆現象は1つの目安です

#### 土砂災害2~3時間前に多く見られる前兆現象



- 流水の異常な濁り

#### 土砂災害1~2時間前に多く見られる前兆現象



- 流木が発生
- 溪流内の転石の音

#### 土砂災害の直前に多く見られる前兆現象



- 降雨時での水位の激減
- 地鳴り・ゴーという音
- 土臭いにおい

### 土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。



### 地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。



※地すべりの予測は技術的に困難であり、土砂災害警戒情報の発表対象となっていないので注意してください。

### がけ崩れ

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



- 湧水量の増加
- 湧水の枯渇
- 井戸水のにごり



- 亀裂・段差の発生・拡大
- 斜面・構造物のせり出し
- 樹木の傾き、根の切れる音



- 山鳴り・地鳴り
- 地面の振動



- 湧水量の増加
- 表面流発生



- 小石がばらばら落下
- 湧水の濁り
- 新たな湧水発生



- 小石がぼろぼろ落下
- 亀裂発生、斜面のせり出し
- 湧水の停止・噴き出し

### 家の周囲の状況は？

- いつもあふれたことがない河川が氾濫している(しそ)
- いつもはあふれない側溝があふれている
- いつもは冠水しない道路が冠水している
- 近くの道路でがけ崩れ(落石含む)が発生している
- 周辺地域で土砂災害が発生している
- 上記以外に周辺地域でいつもと違う異常な状況が認められる

危険を感じたら早めに「安全な場所に避難」しましょう！

早期避難が大事です！

すぐに指定避難所への避難が不可能、または危険が迫っている場合は危険区域外や、できるだけ高いところ(自宅の2階など)に避難しましょう。



## ▶▶ 風水害・土砂災害から身を守る

### 正確な情報収集と自主的避難を

テレビやラジオなどで最新の気象・災害情報を入手しましょう。雨の降り方や浸水の状態に注意し、危険を感じたら避難準備を始めましょう。



インターネットやアプリも活用しよう！

### 避難する前に

二次災害を防ぐ！

あらかじめ避難所を確認しておき、避難する前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。



### 助け合って避難を

できる限り1人での避難は避けましょう。高齢者や子どもは避難に時間がかかる場合があります。家族だけではなく、近所の人々の避難にも協力しましょう。



### 歩ける深さに注意！

段差や溝にも注意！

浸水した場合、歩ける深さの目安は、ひざ下くらいまでです。水深が腰まであったり、浅くても水の流が速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。



### 避難の呼びかけに注意を

災害の危険が迫った時には、役場や消防から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合は、指示に従い速やかに避難してください。



避難する時は裸足や長靴は避け、ひもで締められる運動靴などを履きましょう！

### 車での避難は控える

自動車での避難は緊急車両の妨げや、駐車場スペースの問題等がありますので、できる限り控えましょう。また、自動車を堤防や道路に放置しないようにしましょう。



### 車が浸水したらすぐ外へ！

水深が約30cm前後に達すると、車のエンジンが停止する可能性があり、水深と流速が増すと車ごと流される危険性もあります。車が浸水した場合は、すぐに外に出ましょう。



### 避難が遅れたら…

↑ 垂直に避難する！

万一、避難が遅れ危険が迫った時には、自宅の2階か近くの頑丈な建物のできるだけ高い所に逃げましょう。(垂直避難)

